

アミルアルコール及びイソアミルアルコールに関する追加資料
(推定摂取量に関する情報)

1. アミルアルコールの推定摂取量

		調査年 (年)	生産量 (kg)	人口 (億人)	推定摂取量 ($\mu\text{g}/\text{ヒト}/\text{日}$)
米国	JECFA	1987	230	2.4	43
	補足資料 ^{*1}	1995	260	2.6	34
欧州	JECFA	1995	680	3.2	96
	補足資料 ^{*1}	1995	676	3.7	83

*1 RIFM/FEMA database, Material information on amyl alcohol. (非公表)¹⁾

2. イソアミルアルコールの推定摂取量

		調査年 (年)	生産量 (kg)	人口 (億人)	推定摂取量 ($\mu\text{g}/\text{ヒト}/\text{日}$)
米国	JECFA	1987	8,300	2.4	1,566
	補足資料 ^{*2}	1995	16,658	2.6	2,194
欧州	JECFA	1995	-	-	1,185 ^{*3}
	補足資料 ^{*2}	1995	12,814	3.7	1,581

*2 RIFM/FEMA database, Material information on isoamyl alcohol. (非公表)²⁾

*3 欧州のデータが入手できなかったため、米国のデータから算出。

PCTT 法による算出法

欧米における香料の生産量調査の報告率が 60% 若しくは 80% であると仮定*
し、食品に使用された総量は、人口の 10% のみが摂取しているとして算出

$$\frac{[\text{生産量}(\text{kg}) \times (1 \times 10^9 \mu\text{g}/\text{kg})]}{[\text{人口の } 10\%(\text{人}) \times 0.6 \text{ 又は } 0.8 \times 365(\text{日})]}$$

* JECFA で 2000 年にとりまとめられた資料において、調査データの報告率は、米国 80%、欧州 60% とされている。なお、以前 (1987 年) は、米国の報告されている割合は 60% とされていた。